



「京都外大ホームページから図書館を見てみましょう」編

Q 本紙の「新入生のための図書館利用案内」を読んで図書館の利用がよくわかりました。更に効果的に使えるためのノウハウを教えてください。

A 個人で資料を入手するには、限界があります。図書館は、本館・分館（アジア関係図書館）ともに、皆さんが使う閲覧室以外に、本が並んでいる場所があるのです。その中身を知るのには、ホームページです。ホームページから、閲覧室だけではわからない次の3点のことがわかります。
「蔵書検索」画面 . . . 本学図書館の蔵書がわかります。フリーワードから探して検索結果の画面で、配架されているところがわかります。また、関連図書一覧をクリックしてみましょう。図書の並びがわかります。実際書庫に入ることもできます。

「データベース検索」画面 外部データベース . . . 国内大学図書館がインターネットでつながっている国立情報学研究所のGeNiiは一度見てみましょう。ほかも、学内のみ接続のものは、学内の端末でご利用ください。電子辞書、辞典、また、主に英語の電子ジャーナルも利用できます。英語と日本語の新聞も利用できます。また、国内の雑誌に掲載された記事や論文を知ることができます。

「データベース検索」画面 内部データベース（本学図書館作成） . . . 「データベース検索」と図書館ホームページの下部の「本学図書館の特徴的データベースゾーン」の両方からつながります。語学研究、文学研究、地域研究、そのほか授業関連等々合計約30個のデータベースがあります。ご活用ください。

Q 図書館は単に閲覧室、図書、雑誌だけでなく、インターネットで多くの文献につながっているんですね。

A そうです。国内大学はGeNiiを作成している国立情報学研究所の目録所在情報Webcatから、本学図書館にない資料の複写による入手（有料）、図書の貸借（館内閲覧のみ・有料）による閲覧等もできます。また、紹介状を持ってほかの大学の本や雑誌を閲覧に行くこともできます。（希望日の2～3日前に申し込んでください。）

図書館は、利用者の皆さんが役に立つような本や雑誌やインターネットホームページ情報を準備しています。ホームページから図書館の中身がいろいろわかります。学内の端末からもデータベースにつながります。図書の貸出も学部生・短大生は10冊、2週間、大学院生は20冊、3週間借りることができます。それに加えて、論文作成等の特別貸出は6冊、1カ月です。どうぞ、図書館の本を沢山ご利用くださるよう希望いたします。